

**製品名: MLK4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13956**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MLK4
別名	MLK4; KIAA1804; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase MLK4; Mixed lineage kinase 4
遺伝子 ID	84451.0
SwissProt ID	Q5TCX8
免疫原	抗血清はヒト MAP3KL4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 631-680

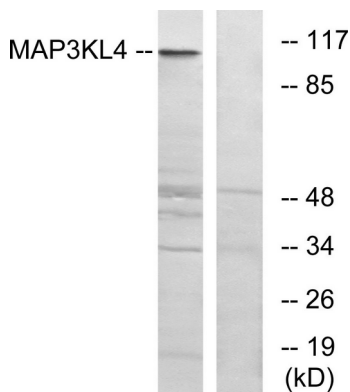
**背景**

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子:マグネシウム。酵素調節:ロイシンジッパードメインを介したホモ

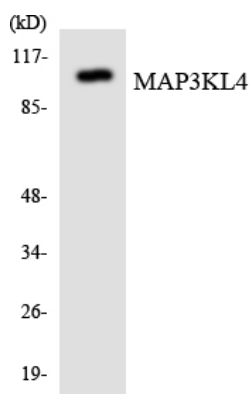
二量体形成は、自己リン酸化とそれに続く活性化に必要です。機能: JUN N 末端経路を活性化します。PTM: 活性化ループ内のセリンおよびスレオニン残基の自己リン酸化は、酵素活性化に役割を果たします。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼ キナーゼ キナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 1つのSH3ドメインを含む。サブユニット: ホモ二量体。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: ロイシンジッパードメインを介したホモ二量体化は、自己リン酸化とそれに続く活性化に必要である。機能: JUN N 末端経路を活性化する。PTM: 活性化ループ内のセリンおよびスレオニン残基の自己リン酸化は、酵素活性化に役割を果たす。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼ キナーゼ キナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 1つのSH3ドメインを含む。サブユニット: ホモ二量体。

## 研究分野

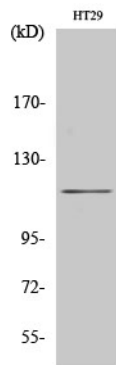
## 画像データ



MAP3KL4 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MAP3KL4 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MLK4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析